



代表質問通告書一覧（9月19日）

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(23番) 安井 宏一 (自由民主党)</p>	<p>1 外国人観光客に対する取り組みについて</p> <p>奈良に多くの外国人観光客を受け入れ、満足して帰っていただくことが重要と考えるが、このことについて、今後、どのように取り組もうとしているのか、知事の所見を伺いたい。</p> <p>2 全国豊かな海づくり大会について</p> <p>大会開催まで2カ月を切り、大会の準備も大詰めとなっていると思うが、「第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～」の意義を県民の方々にどのように伝えていこうとしているのか、大会の具体的な内容も含め伺いたい。</p> <p>3 若草山の移動支援施設について</p> <p>7月30日に開催された「第8回奈良公園整備検討委員会」での意見を受け、知事は8月上旬の記者会見で、若草山一重目までの移動支援について「バス案を中心に検討を進めるように方向転換したいと思う。」と発言されたが、今回転換されたバス案について、今後どのように検討を進めていくのか。</p> <p>4 刑務所出所者等の円滑な雇用に向けた支援について</p> <p>刑務所出所者等の再犯防止のためには、就職の機会を得て自立することが重要と考えるが、県として、その円滑な雇用の促進に向けて、民間等と連携しながらどのように支援していくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(23番) 安井 宏一 (自由民主党)</p>	<p>5 広島市の土砂災害を踏まえた本県における災害対応について</p> <p>(1) 本県においても、広島市における土砂災害の教訓を踏まえ、今後はより一層、土砂災害の危険性のある区域の周知を図り、日頃から土砂災害への警戒避難に備えてもらうことが重要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 今回の広島市のような災害に対して、死者をなくす、人命を守る観点から、住民避難を中心に、県として、どのような支援・取り組みを行っているのか。</p>	<p>知 事</p>
	<p>6 紀伊半島大水害からの復旧・復興及び今後の南部・東部地域の振興について</p> <p>(1) 被災から3年経過した現在の復旧・復興の取り組み状況について伺いたい。</p> <p>(2) 地元の市町村や関係者とも連携し、消滅を待つのではなく、希望を持って住み続けることができる地域となるよう、積極的な取り組みを推進してもらいたいと考えるが、県の南部・東部地域の振興に、今後どのように取り組んでいくのか。</p>	<p>知 事</p>
	<p>7 市町村財政の健全化に向けた支援について</p> <p>県内市町村の財政状況は、改善傾向にあるものの、依然として厳しい状況といえるなか、奈良県市町村財政健全化支援事業をはじめとして、市町村財政の更なる健全化に向け、県はどのように支援していくのか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(23番) 安井 宏一 (自由民主党)</p>	<p>8 危険ドラッグ対策について</p> <p>(1) これまで県は、危険ドラッグの販売店舗に県警察本部と 合同で定期的に立ち入り、販売の自粛を要請してきたと聞 いているが、県内の危険ドラッグの使用による救急搬送や 販売店舗など、現在どのような状況にあるのか。また、今 後危険ドラッグを撲滅していくためには、取扱業者に対す る厳格な取り締まりの強化を図ることと、県民に対して広 く強く啓発していくことが必要と思うがどうか。</p> <p>(2) 先日、県内において、危険ドラッグを所持していたとし て薬事法違反の疑いで22歳の男を逮捕したとの報道があ ったが、現在までの指定薬物に関連する検挙状況と今後の 取り締まりについてどのように考えているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>警察本部長</p>
 <p>(40番) 中村 昭 (自由民主党 改革)</p>	<p>1 本県における地方創生の取組について</p> <p>8月19日に「奈良県地方創生本部」を立ち上げられ、 知事が本部長となり、「地方創生」にしっかりと取り組ん でいかれるとのことである。この「奈良県地方創生本部」 設置の趣旨等を改めてお聞きするとともに、今後どのよう に本県における地方創生の取組を進めていこうと考えてい るのか、知事の所見を伺いたい。</p> <p>2 少子化対策について</p> <p>結婚や子育てへの支援に関して、奈良県らしい、きらり と光る実効性のある少子化対策の実現に向け、あらゆる知 恵の総動員が必要と考える。地方創生の取組の中でも、最 重要課題である少子化対策について、今後どのように進め ていこうと考えているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
(40番) 中村 昭 (自由民主党 改革)	<p>3 ホテル誘致による地域経済の振興について</p> <p>今回のホテル事業者の公募を起点として、県営プール跡地活用をどのように図っていくのか。また、国際ブランドホテルが奈良に立地され、その他の施設と併せて新たな拠点として整備されることで、地域経済の振興にどのように寄与していくと考えているのか。</p>	知 事
	<p>4 安全・安心の県土づくりについて</p> <p>安全・安心な県土をつくっていくためには、既存施設の長寿命化のための適切な維持管理も含め、真に必要な公共事業予算を確保し、災害が起こる前に適切な対策を行うべきであるとする。災害対策に万全を期した安全・安心の県土づくりに向け、県としてどのような方針で取り組んでいこうと考えているのか。</p>	知 事
	<p>5 「奈良県エネルギービジョン」の推進について</p> <p>奈良の実情に応じた、環境にも優しく、産業振興にもつながるエネルギー施策が進められていくことを期待している。本県の地勢や地域の実情を踏まえ、今後のエネルギー政策の方向性について、どのように考えているのか。また、どのような取組を進めようとしているのか。</p>	知 事
	<p>6 農業の振興について</p> <p>(1) なら食と農の魅力創造国際大学校6次産業化研修拠点施設の工事費について、今議会に、カリキュラムの見直し等に伴う施設の仕様変更のためとして、約3億4千万円の補正予算案が上程されている。実践研修機能や学習環境の向上と労務単価・資材価格の上昇等へ対応するためとのことだが、その具体的な内容と、開校に向けた知事の意気込みを伺いたい。</p>	知 事

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(40番) 中村 昭 (自由民主党 改革)</p>	<p>(2) 農業研究開発センターでは、「奈良県農業研究開発中期運営方針」に基づき、「漢方」、「育種」、「加工」、「栽培」をテーマとした研究開発が進められているが、今後、どのような研究に取り組んでいくのか。</p> <p>7 総合的な学習の時間の充実について</p> <p>本県の小・中学校において、現在、総合的な学習の時間にどのような学習活動が行われているのか。また、本年度の本県の全国学力・学習状況調査の結果も踏まえ、総合的な学習の時間の充実について、県教育委員会としてどのように考えているのか。</p>	<p>教 育 長</p>
 <p>(28番) 高柳 忠夫 (民主党)</p>	<p>1 子どもの貧困対策について</p> <p>国では、子どもの貧困対策の基本方針となる、「子どもの貧困対策に関する大綱」が策定され、都道府県においても、「子どもの貧困対策の基本計画」の策定に努めることとされた。本県においても、早期に基本計画を策定する必要があると思うが、如何か。</p> <p>また、基本計画策定にあたっては、施策の検証や見直しをしていくための数値目標の設定と、庁内だけでなく当事者や支援団体を含めた策定委員会の設置が欠かせないと考えるが、如何か。</p> <p>2 スクールソーシャルワーカーの設置について</p> <p>来年度の国の概算要求では、学校を子どもの貧困対策のプラットフォームと位置づけて取り組むこととし、教育と福祉をつなぐ重要な役割を果たすものとして、5年間で10,000人のスクールソーシャルワーカーの配置を打ち出しているが、本県における確実な人数確保とその配置計画について、今後の予定を伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
(28番) 高柳 忠夫 (民主党)	3 県立高等学校の普通教室への空調設備の設置について 空調設備未設置の高等学校において、育友会（PTA）による今後の設置予定はあるのか。また、保護者の経済力の格差が学校の教育環境の差となって現れ、学校間格差の拡大につながることから、速やかに、全ての県立高等学校へのエアコン設置の実施計画を策定する必要があると考えるが、子どもの貧困対策の視点を入れて、教育長の考えを伺いたい。	教 育 長
	4 精神障害者の医療費助成について 精神障害者の医療費助成は、県内の市町村が一斉に実施することが必要であると考えているが、市では実施困難な状況になっている。各市に対して理解を得る努力を重ねる必要があると思うがどうか。	知 事
	5 障害者差別をなくす奈良県条例について 条例検討委員会における意見交換の状況と併せて、条例の内容について、何を中心的課題として、条例制定を進められているのか、基本的スタンスと現状を伺いたい。	知 事
	6 障害福祉サービスにおけるサービス等利用計画について 国は、全ての対象者にサービス等利用計画を作成することとしているが、県内の作成状況はどうか。また、作成の実態を踏まえ、県はどのように対応しているのか。	健康福祉部長
	7 高齢者施策について (1) 地域住民による支え合いの仕組みづくりについて 地域包括ケアシステムの構築に欠かせない生活支援サービスの構築、地域住民による互助の仕組みづくりに向けて、県ではどのように取り組んで行こうとしているのか。	知 事

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(28番) 高柳 忠夫 (民主党)</p>	<p>(2) 認知症ケアパス等について</p> <p>「認知症ケアパス」、「認知症サポート医」、「認知症初期集中支援チーム」の推進に関して、県としてどのように取り組んでいくのか伺いたい。</p> <p>8 公共交通基本計画等について</p> <p>「奈良県公共交通条例」に基づく「公共交通基本計画」の策定に向け、現時点での県の考えを伺いたい。併せて、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律」に基づく「地域公共交通網形成計画」の策定について、県の考えを伺いたい。</p> <p>9 アスベスト問題対策について</p> <p>(1) 国土交通省では、中立かつ公正に調査を行うことができる調査者の育成を図るため、「建築物石綿含有建材調査者」制度が開始されたが、本県においても優先的に活用すべきと考えるが、如何か。</p> <p>また、県職員に同制度講習を修了させ、一定数の県職員調査者を養成し、アスベスト対策の推進に資するべきであり、県内には修了者がいない状況であることから、県職員に講習を受講させていただきたいと考えるが、如何か。</p> <p>(2) 石綿の健康リスク調査は、来年度からは石綿検診の試行調査として継続していくとのことであるが、その内容について、また、この調査に対する県の方針について伺いたい。</p> <p>さらに、労働者以外の健康管理制度の創設を国に要望すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 労働者以外に救済金制度を実施しているニチアス、竜田工業は救済金支払い状況を公表しなくなっている。県としても救済金支払い状況等について、引き続き情報の提供を行うよう求めていくことが必要と考えるが、如何か。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>